

生涯学習部の報告事項

1. 町田市教育委員会定例会

(1) 2020年度 第12回 定例会 (2021年3月8日)

<議案>

【生涯学習総務課】

- ・議案第46号：町田市指定旧跡の指定について

「伝鎌倉井戸（鎌倉古道推定地）」を町田市指定旧跡に指定することについて、承認された。

<報告事項>

【生涯学習総務課】

- ・報告事項1：町田市文化財保護審議会からの答申について

諮問事項「町田市文化財保護条例に基づく町田市指定史跡の種別変更及び名称変更について」に対し、市指定史跡「(通称) 鎌倉井戸」の種別を旧跡へ、名称を「伝鎌倉井戸（鎌倉古道推定地）」へ変更するとした答申が提出された。

- ・報告事項2：町田市立博物館からの資料移管について

2021年3月末には移管が完了する。今後は、生涯学習総務課がすでに所蔵している考古・歴史・民俗資料との一体的な活用を推進する。

【図書館】

- ・報告事項3：「町田市読書マップ」の作成及び配布について

地域文庫やまちライブラリー、市民による本と触れ合える取組みなど、本を読むことを身近に感じ読書のきっかけとなるような施設を紹介。

配布開始日 2021年3月16日(火)、掲載施設 全73箇所（市民センター、子どもセンターなど）

- ・報告事項3：「ひとことPOPコンテスト」開催結果について

提出数：413枚（うち、選考対象409枚）から、最優秀賞・優秀賞・館長特別賞を各1名選出。受賞作品のしおり各10,000枚、計30,000枚を図書館や協賛書店などの施設で配布。

(2) 2020年度 第2回 臨時会 (2021年3月31日)

<議案>

【生涯学習総務課】

- ・議案第57号：第32期町田市社会教育委員の委嘱及び解職について

- ・議案第58号：第5期町田市生涯学習審議会委員の委嘱及び解任について

関根委員の解任及び吉川委員の委嘱について承認を受けた。

(3) 2021年度 第1回 定例会 (2021年4月14日)

<議案>

【生涯学習総務課】

- ・議案第2号：町田市公立小学校PTA連絡協議会及び町田市立中学校PTA連合会の役員への感謝状の贈呈について

町田市教育委員会感謝状の贈呈に関する要綱第3第5号に基づき、2名に感謝状を贈呈。

2020年度町田市立中学校PTA連合会会長（社会教育委員の小崎さん）

2020年度町田市公立小学校PTA連絡協議会代表

<報告事項>

【生涯学習総務課】

- ・報告事項7：金井中学校における町田の歴史のオンライン授業の実施報告について

ICTを活用した町田の歴史を紹介するオンライン授業の実施報告。

日時：2021年3月24日（水）2時限目（1学年）、3時限目（2学年）

場所：金井中学校

実施対象：金井中学校1学年（5クラス：163人）、2学年（4クラス：151人）合計：314人

- ・報告事項8：自由民権資料館 第3回市民協働企画展

「歴史を学び、考える～仲間とともに深め合う～」の開催について

「町田自由民権カレッジ」の講座内容を紹介するとともに、3年間の学びの総まとめとして執筆した卒業論文の内容を、展示という手法で紹介。

- ・報告事項9：「20×20 原稿用紙展／2020絵本原画展」の実施報告について

開催期間：前期2020年9月19日（土）～12月20日（日）

後期2021年1月9日（土）～4月4日（日）

観覧者数：6,639人／151日間（1日平均：44人）

- ・報告事項10：開館15周年・ZARD30周年YEAR

「ZARD坂井泉水 心に響くことば展」の開催について

会期：2021年5月15日（土）～7月11日（日）※日時指定予約制

※緊急事態宣言により、会期に変更が生じています。

観覧料：一般：600円、大学・高校・中学生：300円、小学生以下無料

(4) 2021年度 第2回 定例会 (2021年5月7日)

<議案>

【生涯学習総務課】

- ・議案第5号：第31期町田市文化財保護審議会委員の委嘱について

<報告事項>

【図書館】

- ・報告事項6：玉川学園コミュニティセンターにおける予約資料受渡しサービスの実施について

利用できるサービス：予約資料の受け取り、資料の返却、リクエストカードの提出

開始時期：2021年5月24日（月）

・報告事項7：「ことばらんどショートショートコンクール2021」の実施について

1997年から児童青少年課で実施されてきた「ひなた村創作童話コンクール」について、「子ども達に文芸創作活動の機会を提供し、豊かな人間性を伸ばし、心身の健全な育成を図る」という趣旨を引き継ぎ、今年度から文学館で実施。

応募期間：7月1日（木）～9月20日（月・祝）

表彰式：2022年1月実施予定、賞状と副賞(図書カード)を贈呈

(5) 2021年度 第3回 定例会 (2021年6月2日)

<議案>

【生涯学習総務課】

・議案第11号：第5期町田市生涯学習審議会委員の委嘱及び解任について

小崎委員の解任及び菅原委員の委嘱について承認を受けた。

<臨時代理報告>

【生涯学習総務課】

・臨時代理報告第1号：第32期町田市社会教育委員の委嘱及び解職について

2. 町田市議会 3月定例会

<個人質疑>

森本 せいや議員 (3月5日)

指定管理者制度を図書館に導入するにあたり、事例を把握した上で、そのメリット及びデメリットを冷静に分析しているか。

(生涯学習部回答)

- ・メリットは、民間事業者の力を取り入れ、多様な主体による、社会の変化に対応した、よりよい公共サービスの提供が期待できることである。一方、デメリットについては、大きなものがあるとは考えていないものの、利用者の個人情報について不適切な取り扱いがあった事例や、図書館にふさわしくない本を購入した事例などの報道は承知している。
- ・町田市立図書館では、指定管理者を選考する過程で、指定管理者に求めるコンプライアンスや図書館サービスの方向性を示していく。これまでの図書館サービスは継続させつつ、民間事業者による独自の工夫やノウハウを取り入れて、サービスの向上に努める。

田中 美穂議員 (3月5日)

市立図書館への指定管理者制度の導入が検討された経緯について。また、条例改正によって導入できる範囲や手続きについて。

(生涯学習部回答)

- ・2018年3月「今後の生涯学習施策の進め方について(答申)」→2019年1月「今後の町田市立図書館のあり方について(答申)」→2019年2月「町田市立図書館のあり方見直し方針」策定→2020年2月、指定管理者制度の導入を含む「効率的・効果的な図書館サービスのアクションプラン」決定。
- ・条例改正によって、町田市立図書館全館に指定管理者制度を導入することが可能となる。
- ・手続きについては、町田市教育委員会で導入する図書館を決定した後、指定管理者を募集し、応募者の中から候補者を選定する。その上で、指定管理者の指定について市議会の議決をいただくことが必要。

<一般質問>

田中 美穂議員 (3月17日)

3 鶴川図書館の存続を求めて

鶴川図書館存続の請願が採択されているのであるから、鶴川図書館は市が直接運営する公立図書館として存続させるべきである。

(生涯学習部回答)

- ・将来に渡り、町田市立図書館サービスを継続していくために、「町田市立図書館のあり方見直し方針」及び「効率的・効果的な図書館サービスのアクションプラン」に基づき、図書館の再編を進めていく。
- ・採択された請願も不採択となった請願もしっかりと受け止め、地域の皆様のご意見を伺いながら進めていく。

おぜき 重太郎議員 (3月17日)

2 図書館の広域利用について

近隣自治体の図書館との間で行っている相互利用の現状を確認したい。また、相互利用による資料の貸出実績を確認したい。

(生涯学習部回答)

- ・横浜市図書館と相互利用サービスを2020年11月1日から開始したことにより、現在、町田市民は、相模原市や八王子市など、合計10市の図書館を利用することができるようになった。
- ・2019年度に、町田市民がこのサービスを利用して、近隣自治体の図書館から借りた資料の点数は、約16万点、近隣自治体の市民が町田市立図書館から借りた資料の点数は、約28万点。

矢口 まゆ議員 (3月18日)

5 学校に通う児童・生徒とその保護者、学校の教職員の方々がPTAについて正しく理解できるような情報発信を！

PTAは学校の施設を使って活動する団体であるので、PTA会費はすべての子どもたちのために使われるべきである。例えば、卒業式の記念品や胸につける花飾りをPTA非加入の児童・生徒に配布しない事は許されると考えているのか。このことについて、教育委員会の認識を確認したい。

(生涯学習部回答)

- ・PTAは、保護者の加入・非加入に関わらず、すべての児童・生徒を対象に活動する団体であることは、認識している。しかし、PTAは、社会教育法に規定される社会教育関係団体で、学校から独立した任意の団体である。そして、同法により、教育委員会は、PTAの求めに応じて助言を行うことはできるが、その事業に干渉を加えてはならないとされている。そのため、PTA会費の使い方に関しては、各PTAの規約や会則などの定めによるものと考えている。
- ・任意団体であるPTAが卒業式の際の記念品や胸につける花飾りを購入するなど、会費の使い方についても、先ほどと同様、各PTAの定めによるものと認識している。しかし、教育委員会としては、学校の教育活動において、PTAへの加入・非加入に関わらず、児童・生徒に対して差別的な扱いがないよう配慮すべきものだと考えている。

三遊亭 らん丈議員 (3月18日)

1 町田市立図書館の現状と今後について

図書館は、市民の声をどのように把握し、運営に反映させているのか確認したい。

(生涯学習部回答)

- ・2020年度は、7月に「鶴川駅前図書館利用者アンケート」を実施し、鶴川駅前図書館に指定管理者制度を導入することや、今後充実すべきサービスなどについて意見を伺った。また10月に、今後のサービス改善のため「2020年度 町田市立図書館利用者アンケート」を実施し、利用実態や、利用者のニーズおよび満足度を調査した。直近では、2月と3月に「鶴川図書館の再編後の姿を考える」と題したワークショップを開催し、鶴川団地の中に残す図書館の機能や、公共空間としての新たな価値、今後の運営などについて、意見交換をしていただいた。
- ・これらの市民の声は、現在取り組んでいる「効率的・効果的な図書館サービスのアクションプラン」の推進に反映させていく。

殿村 健一議員 (3月22日)

1 まちづくりにおける公立図書館の役割について問う

これからのまちづくりに公立(市立)図書館をしっかりと位置付けるべきと考えるが、どうか。

(生涯学習部回答)

- ・町田市教育委員会では、「町田市立図書館のあり方見直し方針」及び「効率的・効果的な図書館サービスのアクションプラン」に基づき、図書館の再編を進めていく。